

第52回技能五輪「情報ネットワーク施工」職種選手推薦条件(案)

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

推薦(※0)を受けようとする者は、以下の条件のA & B & (C or D or E or F or G) を満たしていること。

【条件】

- A. 全国大会出場資格を満たす者
- B. 情報配線施工技能検定2級取得者(見込み含む) (※1※2)
- C. 情報通信配線技術フォーラム2014 (※3)において条件を満たした者(※4)
- D. 第51回技能五輪全国大会における入賞者(※5)
- E. 1社1名のみ出場する者(※6)
- F. 当協議会が特別に推薦する者(※7)
- G. C～Fで定員に充足しない場合は、申込者の中から抽選する(※8)

- ※0 本推薦は、当協議会が中央職業能力開発協会からの依頼により推薦者名簿を提出するものであり、全国大会出場のためには各都道府県が承認後に別途申し込みが必要である。
- ※1 平成26年度入社 of 者または学生は3級取得で良い(大会時に3級受検見込みでも良い)。
- ※2 推薦時に2級を取得見込みの者も推薦する。
- ※3 情報通信配線技術フォーラムは、2014年4月16日～18日に東京ビックサイトで実施する。
- ※4 別紙参照
- ※5 金・銀・銅賞のみ。平成26年度は対象者3名である。
- ※6 推薦を受けようとする企業及び選手は、※3に出場すること(条件Dの者を除く)。また、1企業あたり2名以上の推薦を受けたい場合には、条件CあるいはDを満たさなければならない。
- ※7 ※3の結果により判断する。
- ※8 原則として、1社あたり2名以上の推薦を受けている企業は対象から除外する。また、Eにより出場資格を得た企業よりCにより出場資格を得た企業を優先する。
- ※9 1社あたりの推薦上限数は原則として4名とする(条件Dを含む)。ただし、予選会の結果により5名とする場合がある(例えば、接続下限を満たした者が他にいない場合、「通過条件※3※4」の場合など。ただし、この場合においても上限は5名。)。また、5名となる企業が複数いる場合には、条件Dの者が多い企業を優先する。
- ※10 推薦者数は現時点で未定であるが24名を推薦予定者として決定する。推薦者の最終決定は推薦者数が決定した後に行う。

情報通信配線技術フォーラム2014
第52回技能五輪全国大会予選会通過条件

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

以下を予選会通過条件とする。

【条件】

1. 「情報ネットワーク施工」職種予選会(光)の各プログラムで、上位1名の者(※1)
2. 「情報ネットワーク施工」職種予選会(光)に出場した全選手の中で上記1.を除いた上位5名～10名の者(※2)
3. 「情報ネットワーク施工」日本一決定戦(メタル)(1)の上位2名の者
4. 「情報ネットワーク施工」日本一決定戦(メタル)(2)の上位1名の者
5. 「情報ネットワーク施工」日本一決定戦(メカスプ)において、上位1名の者(※3)
6. 「情報ネットワーク施工」世界一決定戦において、上位1名の者(※4)
7. 「情報ネットワーク施工」学生日本一決定戦において、上位1名の者(※5)

※1 計5名となる。なお、この者が仮に他の回の2位以下の接続数でもOKとする。

※2 推薦予定者数に達するまで。

※3 一般者も参加可能。メカスプの工具・素子のメーカーは指定する(住友3M、主催者準備)。1位の者が所属している企業に推薦枠を与える。ただし、推薦を受ける者は本予選会に出場し「推薦条件※5」を満たしていること。また、この推薦枠は推薦上限数(4名)と別とする。

※4 1位の者が所属している企業に推薦枠を与える。ただし、推薦を受ける者は本予選会に出場し「推薦条件※5」を満たしていること。また、この推薦枠は推薦上限数(4名)と別とする。

※5 本人の希望による。

※6 各プログラムへの重複出場は可とする。ただし、同一者が重複して上記推薦条件を満たした場合は、予選会(光)を優先し、他の各プログラムの推薦者は2位の者とする。なお、それでも重複している場合は、【条件2】の次点の者から推薦する。また、次点の者が1社あたりの出場者上限に達している企業に属している場合は、スキップする。

※7 接続下限を予選会(光)は160ポイント(新人は150ポイント)、日本一決定戦(メタル)は14リンクとし、それ以下の者は原則として推薦しない。